

ツナガル！ヒロガル！ 〈ろうきん〉運動の

輪

今回の運営委員会

沼津支店 運営委員会 (20人)

運営委員会とは…会員（組合）の代表者と〈ろうきん〉の営業店長などで構成される組織。会員の構成員（組合員）の声が反映された〈ろうきん〉の商品やサービスづくり、組合員の生活の維持・向上に〈ろうきん〉を役立てる施策を企画・展開している。

このコーナーでは毎回、独自の活動を展開する運営委員会の様子を紹介していきます。

お話をうかがった運営委員さん

●運営委員長 中西清文さん (明舎舎労働組合沼津支部)

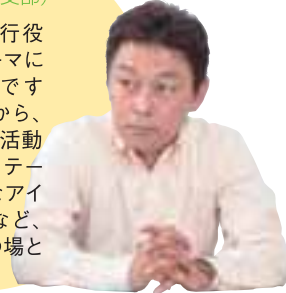
運営委員会の事前準備として、副運営委員長や支店長、会員係長で2役会議を開いています。沼津支店の運営委員は、経験の長い人、短い人それぞれですが、まず〈ろうきん〉を好きになってもらうことを第一に考え、勉強会や分散会を取り入れながら明るい雰囲気づくりを心がけています。



沼津支店運営委員会の特長を一言お願いします。

●副運営委員長 岩瀧昌章さん (全矢崎労働組合沼津支部)

分散会は、2役が進行役を行います。当然テーマにそった議論をするのですが、中には運営委員から、日ごろは言えない組合活動における思いや悩み、テーマとは関係ない斬新なアイデアが紹介されるなど、とても良い情報交換の場となっています。



●副運営委員長 土口裕さん (図書印刷労働組合沼津支部)

私も運営委員会に携わり10年になりますが、特長といえば、運営委員の大半が、各組織の3役クラスで、出席率も高いこと。また、本人が出席できない場合は代理出席をいただくなど、運営委員会の討議内容が各組織のトップまで伝わる仕組みができています。



！ 会員代表者会議の 議案書が組合の 掲示板に！



会員代表者会議の運営にはいつも気を使います。地域の各組織の代表者クラスが集まっていただけ

の絶対の機会であり、提案させていただいたことが、その場限りで終わってしまえば、本当にもったいないです。そこで、2009年から会員代表者会議の議案書をA3両面でコンパクトにまとめ、〈運営委員会〉〈ろうきん〉〈会員〉が三位一体となって取組む関係づくりの必要性を訴えるイメージ図をメインにして、分かりやすい内容に変更したんです。



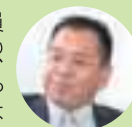
議案書はポリウムではなく、読んでもらって理解いただくことが重要なんです。この議案書は、〈ろうきん〉と〈運営委員会〉が作成したひとつの見やすい教宣物ともいえるでしょうね。運営委員には、議案書を

手元に持つていってもらい、とをお願いしており、またある組合では、この議案書を組合事務所に掲示してくれているところもあるみたいです。



2010年度会員代表者会議議案書

！ 2役を中心に 運営委員オルグで トップセールス！



沼津支店運営委員会では、2役を中心に地域会員への運営委員オルグを実施しています。沼津地域会員も、やはり組織人員や活動できる環境に違いがあり、〈ろうきん〉の伝わり方に濃淡があるのが事実です。私たちは、運営委員会という枠の中だけではなく、地域会員も「できることから、いっしょに始めよう」というスローガンのもと、結果はすぐに出ないかもしれませんが、継続した活動を展開していくつもりです。



運営委員オルグは、組織でやっている教宣活動を紹介したり、アドバイスをするということも重要なんです。まずは、〈ろうきん〉活動を進めていく中での悩みや困りごとを聞いてあげることだけでもいいと思います。そのような積み重ねが、〈ろうきん〉の良さへの「気づき」のきっかけになればと考えています。

！ 「活動計画シート」 の活用



2009年度から中部地区の運営委員会活動を参考にし、各運営委員と〈ろうきん〉職員で打ち合わせを

してもらい、「一時金の預金キャンペーンや各種セミナーの開催などの年間活動計画をまとめた『活動計画シート』を作成することを試みました。いまでは、このシ

トが、運営委員と〈ろうきん〉職員の「コミュニケーションツール」としてお互い意識を上げて活動ができるようになりました。



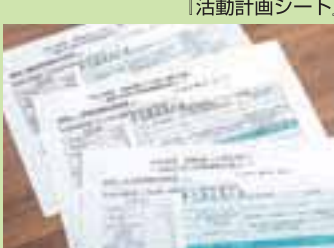
この『活動計画シート』の進捗状況は〈ろうきん〉職員より、運営委員会で報告されています。各運営委員は、その活動内容を参考に「うちの組織もがんばらないと」と、お互い刺激になっているようで、活動結果を率先して報告してくれる会員も出てきました。また、今年度はこのシートに組合行事の項目を入れるなど、さらなる充実を図っています。

！ 今後、実践して いきたいこと



やりたいことはたくさんあります。まずは、会員代表者会議や地域会員への運営委員オルグだけでは伝えきれない〈ろうきん〉の良さを知っていただく場として、各会員の代表者が集まって、本音で対話をする「座談会」を開きたいと考えています。

そういった活動の積み重ねを通じて、〈ろうきん〉の輪を、地域のすべての勤労者へ広げていくという大きな目標に向けて、今後がんばっていきます。



このコーナーでは、運営委員会の活動を紹介します。「取材に来て欲しい」「ミーツに載りたい」という運営委員会は、ぜひミーツ編集室へご連絡ください。